

「（仮称）新球技場整備事業」  
公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針

【対応方針】

計画通り実施する。

【対応方針決定の理由】

小倉駅新幹線口近くを建設候補地に、1万5千人以上を収容できる施設として検討を進めている新球技場は、サッカーやラグビーなどレベルの高いプロの試合をはじめ、小中高生のサッカー・ラグビー大会や、市民に人気の高いグラウンドゴルフ大会、幼児の芝生体験、大規模なコンサート、スタンド・コンコース・諸室の貸し出しなど、多目的な活用を図ることで、市民に夢と感動を与えるとともに、にぎわいあふれる北九州市の創出に寄与するものと考えている。

新球技場の検討に当たっては、「二度立ち止まって、市民・議会の声をよく聞いてすすめる」というスタンスで臨み、これまで2回の公共事業評価に諮るなど、丁寧に事業を進めてきた。

今回の評価では、平成23年度に行った、事業構想段階における「事前評価1」に引き続き、「事前評価2」として、市が策定した具体的な事業計画（案）に対して、事業の必要性、有効性、効率性それぞれの観点から検討がなされ、事業を実施することについて、すべての構成員から「異論はない」との意見をいただいた。

また、市民への説明・意見交換会や公共事業評価におけるパブリックコメントなど、色々な場を通じて、市民からも多くの意見をいただけてきた。

さらに、市議会においても、様々な観点から質疑・提案をいただくなど、多くの議論を積み重ねてきた。

これまでの公共事業評価の手続きや、市民・議会の意見を総合的にみると、街なかの新しいにぎわい拠点を造ることについて、理解が広まったと感じている。

新球技場は、Jリーグの試合開催という目的だけでなく、若者をはじめ多くの市民が都心部に集まり、街のにぎわいを生みだすきっかけとなるものであり、この街の将来に必要な施設と考えていることから、計画通り、事業を実施することとする。

なお、検討会議でいただいた意見については、それに基づき募集した市民意見を踏まえた上で、次のとおり対応する。

### **(1) 市民説明について**

新球技場の計画を進める基本姿勢としては、市民の意見を聴き、市民理解を深めることが重要であるという考えに基づき、丁寧に説明や意見交換を続けてきた。

平成22年11月に基本方針を公表後、市民への説明・意見交換会を開始し、平成25年6月15日現在で、115団体・3,848人に対して説明を行い、説明会後に実施したアンケートでは、回答者の約76%が賛同の意向であるという結果を得ている。

今後については、事業進捗の段階に応じて、説明内容の充実を図り、また、賛同の割合が低い属性についての要因分析を行いながら、丁寧な説明に継続して取り組んでいきたい。

なお、今後、事業を進めるに当たっては、従来の市民説明・意見交換会に加え、タウンミーティングの開催や、市政だよりなどより多くの市民に伝わる媒体の活用により、周知を図っていきたい。

### **(2) まちづくりについて**

新球技場整備に伴うまちづくり効果の発現については、行政内の関連部署や、まちづくり団体、商業団体などと協議を行い、小倉駅を中心とする小倉都心部を一体とした街のにぎわいづくりや回遊性の向上に取り組んでいきたい。また、PFI事業者にも、周辺施設などとの連携によるにぎわい創出についての提案を求めることとしたい。加えて、まちづくり団体や商業団体などとの活発かつ気軽な議論の手段として、最新のソーシャルネットワーキングサービスなどの活用も検討していきたい。

試合開催日以外の施設の活用については、グラウンドゴルフや幼児の芝生体験などの市民利用イベントに加え、コンサートの開催や、スタンド・コンコース・諸室などの市民や民間事業者への貸し出しといった活用についても積極的に取り組んでいきたい。

### **(3) PFI事業としての案件形成の方向性について**

PFI事業の実施について、事業者の募集に当たっては、より魅力的な事業となることを目指し、事業者に求める要件は必要最小限にとどめ、施設の多面的な活用や、周辺施設との連携による街のにぎわいづくりといった観点から、出来る限り事業に自由度を持たせ、独創的な管理運営への意欲が高まる仕組みを検討していきたい。

また、PFI事業者の参入意欲を喚起するため、参加しやすい資格要件や適正な評価基準の設定などにも留意して、事業スキームの構築に取り組んでいきたい。

#### (4) ギラヴァンツ北九州について

ギラヴァンツ北九州の財務状況については、営業努力による広告収入等の増加により、2012年度は単年度黒字を達成し、今後は、更なる収益の向上と資本の増強に取り組んでいくと聞いている。

本市としても、クラブの経営改善に向けた取り組み状況や財務状況などを、引き続き注視していきたい。

ギラヴァンツ北九州が「わが街のチーム」として多くの市民に浸透する取り組みについては、クラブが発足して間もない現時点において、本市としても、これまでの観戦のきっかけ作りとなる事業に加え、新たに、地元での観戦講座などにも取り組んでいきたい。

また、クラブも、学校訪問やサッカー教室などの「ホームタウン活動」に積極的に取り組んでおり、本市としても、側面から支援していきたい。